

ひまわり

札幌市立幌北小学校ひまわり分校
札幌市立北辰中学校ひまわり分校
学校だより

令和6年10月28日

第27号

何気ない会話のよさ

子どもたちと何気ない会話で、「漫画本」の話をするところがありましたので紹介します。分校の図書スペースにも置いてある「漫画本」です。漫画本は、いつの時代になっても読まれています。今は、子どもたちだけではなく、大人の方々も含めて幅広い世代の人が漫画本を読む時代です。



子どもたちに「この漫画を読もう!とか、単行本を買おう!と決めるときは、どうやって決めるの?」と話す機会がありました。そうすると「友達から情報をもらう。」「TikTokを見て情報を得る」とか「本屋さんに行ってみる。」など教えてくれました。やはり、読みたい漫画を選ぶためには「友達からの情報」が一番のようです。最近では、「携帯電話のアプリを利用(ダウンロード)して漫画を読むことも、方法の一つ。」とも教えてくれ、この場合も、「本の方が読んだ気持ちになる。」や「携帯電話だと手軽でいい。」など、子どもによって様々です。TVのCMでもあるように、携帯電話で漫画を読むことも子どもたちに浸透していることも分かりました。

また、漫画の単行本1冊あたりの値段も500~600円するとも話になり、(漫画本は、安くはないですね。)まとめ買いをするときはお金がかかることや、本のリサイクルショップを上手に利用する方法もあることなども話してくれました。漫画を買うことについて、子どもたちなりにしっかり考えているな…と感じました。何気ない会話から「子どもの感覚を知ることができる」よい機会となりました。

何気ない会話②

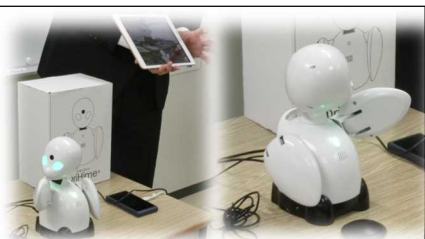
子どもたちと話すときに「朝ごはん、しっかり食べた?」「昼ごはん、どうだった?」とよく聞いてしまいます。子どもたちは、ご飯の話をするときに視線を合わせてくれる子や、パパと優しい表情になる子、視線を落としたままの子などお子さんによって反応は様々です。でも、その子どもにとって好きな物がメニューに出たときは、多くの子どもの表情が明るい(優しい)表情になります。「人を笑顔にできる食べ物のかってすごいなあ。」と感じる瞬間です。ちょうど、子どもたちが教えてくれたのは、お昼のご飯に「天丼」が出たときのことでした。「エビが2本出て、おいしかった!」と話していました。



食べることは、自分の体を作る基本ですので、子どもたちが食事について楽しそうに話す姿がとても嬉しく、「素晴らしいことだな。」とも感じます。しっかり食事をしてエネルギーを充電し、元気な子どもであってほしいと願う瞬間です。「食事」は心と体をつなぐとても大切なことだと実感します。

これからの時代に…

先日、ひまわり分校に札幌市教育委員会の方が来校し、「オリィ研修会」を行いました。「オリィ」とは遠隔操作ができる通信ロボットです。(最近、新聞等にも取り上げられています。)このロボットには、カメラやマイクが付いており、操作する人からは、映像と音声が見たり聞いたりすることができます。ロボットは様々なアクション(操作する人が見たい方向に首が回る。手を上げる、振る等の動きができる。)をするので、操作する人の意向を表現することができます。よって活用方法は、様々です。今後、どのような教育場面で使用されるのか考えさせられる研修会でした。病棟関係者の方々にも観に来ていただきありがとうございました。 ※ひまわり分校にオリィは、配置されておりません。



お知らせ ◎28日(月)は、ひまわり集会(5時間目)があります。